

(様式6)事後評価箇所シート

農政部 農地整備課

| | | | | | | | | |
|--|---|--|------------|-------------|-------------|-------------------------------------|----------|-----------|
| 分野 | ため池の補強等 | | 事業番号 | 3 | | 事業名 | 県営ため池等整備 | |
| 市町村名 | 上田市 | ふりがな 箇所名 | しもいけ 下池 | | | 工期 (年度) | 当初 | H16 ~ H19 |
| 当初事業費 | 70,000 千円 | | 費用対 効果 | 当初 | 1.25 | | 実績 | H16 ~ H18 |
| 最終事業費 | 76,400 千円 | | | 評価時 | — | 完了後経過年数 | 5年 | |
| 事業目的 | 本地区ため池は、慶長年間に下流水田の用水確保のため築造され、昭和38年～40年に取水施設・余水吐等の改修を行いまた、昭和61年にも放水路の一部を改修している。しかしながら、堤体本体は、ほとんど改修されておらず、堤体の漏水浸食が大きき問題となっており、洪水時では決壊の危険性がかなり高くなっている。本ため池下流には、民家や県道等の公共施設があり、ため池が決壊した場合には、多大な被害が予想されるので、ため池を改修し、農業生産の安定と農村・公共施設の安全性の確保を図ることを目的としている。 | | | | | | | |
| 事業等経過 | 当初計画内容 | 堤体工(遮水シート張り、張ブロック工) L=36m 護岸工(置石工) L=298m 洪水吐工 L=31m 根継工(練積ブロック工) L=186m | | | | | | |
| | 最終事業内容 | 同上 | | | | | | |
| | 変更理由 | 堤体工の仮設工法の変更により、事業費が増となった。 | | | | | | |
| 評価内容 | | | | | | | | ランク |
| 事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない) | | | | | | | | B |
| ため池決壊の危険性が減り、農村・公共施設の安心・安全が確保されるとともに、施設の維持管理軽減が図られ農業生産の安定にも寄与し、事業目的が達成された。 | | | | | | | | |
| 事業実施に伴う自然環境の変化(A:環境がよくなった B:影響なし C:影響あり D:影響が大きい) | | | | | | | | B |
| アンケート調査の結果では環境の変化について、良くなった・やや良くなった・変わらないとする回答は約7割であり、事業実施に伴う自然環境への影響は良くなっている。 | | | | | | | | |
| 施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切にされている C:やや不十分 D:適切にされていない) | | | | | | | | B |
| 関係水利組合により、施設の草刈りや、かんがい期のポンプ・ゲート操作など、適切に維持管理されている。 | | | | | | | | |
| 地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い) | | | | | | | | A |
| 事業の必要性、納得度、重要性について、7割以上の方から評価されている。 | | | | | | | | |
| 改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要) | | | | | | | | A |
| 当事業としての改善措置の必要性はない。ため池工事の実施に合わせて、池の排土要望が出たが、事業制度上実施できない理解を得て、事業完了している。 | | | | | | | | |
| 事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している -:特になし) | | | | | | | | — |
| 特になし。 | | | | | | | | |
| 部意見 | ため池決壊の危険が無くなり、かつ用水の安定供給ができ、所期の目的が達成された。また、周辺環境への影響も改善され、事業効果が十分に発揮されている。 | | | 政 評 意 | 策 課 見 | 農業用水の安定供給と災害の未然防止が図られ、事業の目的を達成している。 | | |
| 今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等 | | | | | | | | |
| ・農業用水の安定確保はもとより、災害を未然に防止する目的から、地域住民の評価は非常に高い。引き続き、農業面での安心安全に加え、農業用水以外の多面的機能や自然環境などに配慮した計画策定により、地域住民に親しまれる施設となるような事業推進を図っていきたい。 | | | | | | | | |

アンケートの方法及び対象

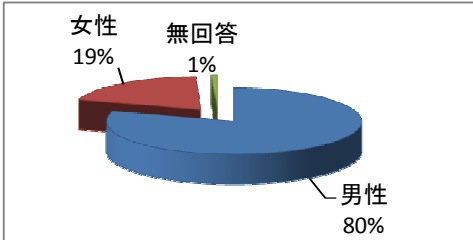
・上田市(尾野山自治会)の住民198名に対し、アンケートを実施した。配布数 198

回収数 154

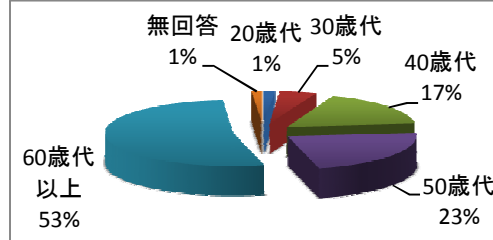
回収率 78% 男性80% 女性19% 無回答1%

アンケート結果

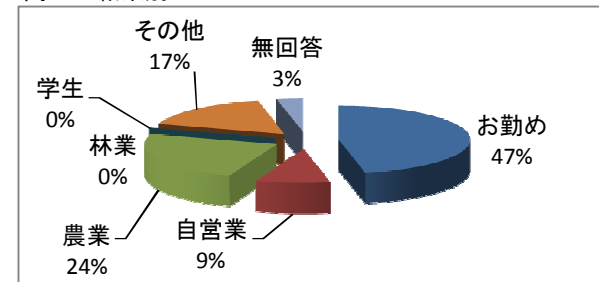
問1 性別



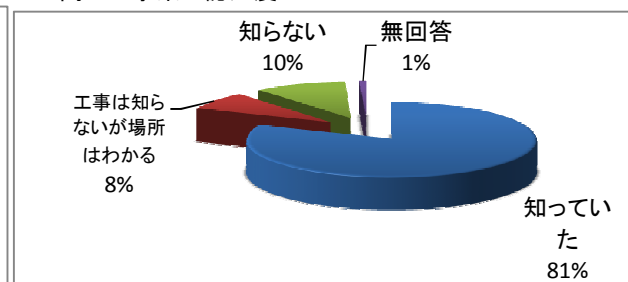
問2 年齢



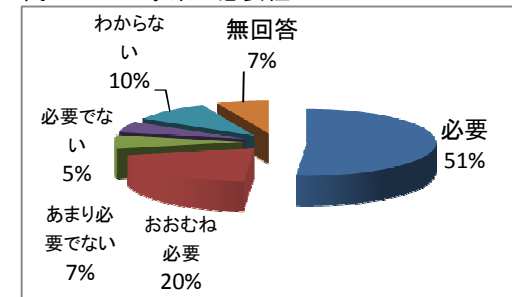
問3 職業別



問4 事業の認知度について



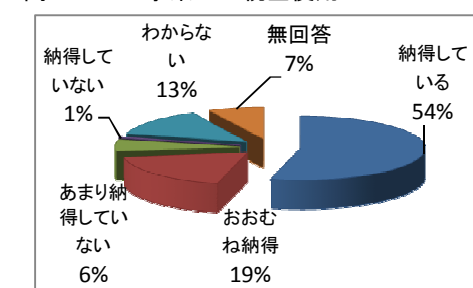
問5-1 事業の必要性について



問5-2 主な理由

- ・池の下流に住居、田があるため。ため池の直下に家がある。
- ・災害発生への心配が常時あったため。
- ・堤の崩壊による水害(土石流)発生を防ぐ必要があった。
- ・用水確保のため年間の維持管理費の削減につながる。
- ・工事以降、安心してため池を利用出来るようになり良かった。
- ・田畑は持っていないが豪雨時の貯水機能確保の効果を期待する。
- ・兼業農家として水の確保、安全確保は公共事業で行ってほしい。
- ・池の水を利用することが無いため。
- ・直接、自分の生活とどう関わりどのような効果か知らないため。

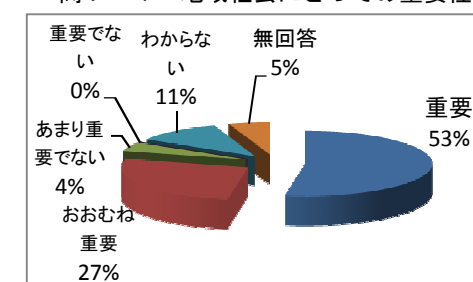
問6-1 事業への税金使用について



問6-2 主な理由

- ・堤体からの漏水は、給水ポンプの不要な稼働に繋がり不要な電力消費に繋がる。社会的損失の長期的回避。
- ・将来にわたり、水田の維持は荒廃地を増やさないため。
- ・税金以外で、逆に工事できるお金は無いので仕方ない。
- ・補修工事により下流の災害が減少。
- ・農業に携わらない人には納得できないと思うが地域の景観・安全は良くなった。
- ・一部受益者負担にして欲しい。
- ・多額の税金でいったい何軒の人が利用するのか？
- ・工事終了後のアンケートに意味はあるのでしょうか？

問7-1 地域社会にとっての重要性について

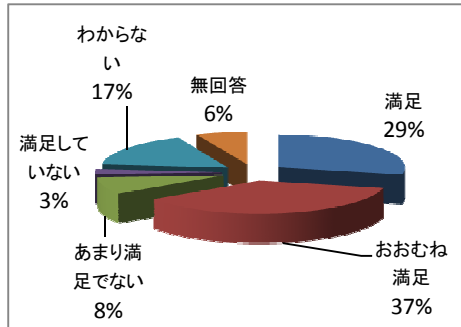


問7-2 主な理由

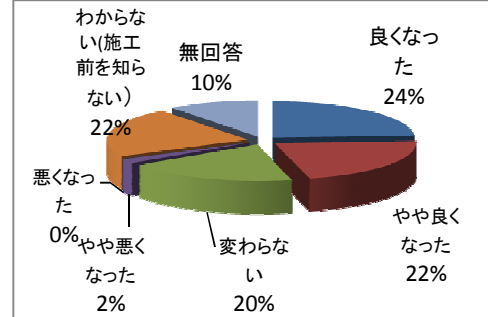
- ・堤本体が壊れれば、下流の住宅、田畑に重大な被害が出る。
- ・川の無い地域なので米作りにはどうしても必要。
- ・治山問題の解消が図られたのではない。
- ・降水量の少ない地域の渇水対策として必要。
- ・村の活性化に繋がっていく。
- ・工事により災害が起きにくくなることは重要。
- ・衛生面からみて仕方ない。
- ・音楽村～下池～上池～須川湖へと観光トレッキングコースになりえる。
- ・恩恵を受けていない。
- ・農家の人には重要でも、私には重要ではない。

アンケート結果

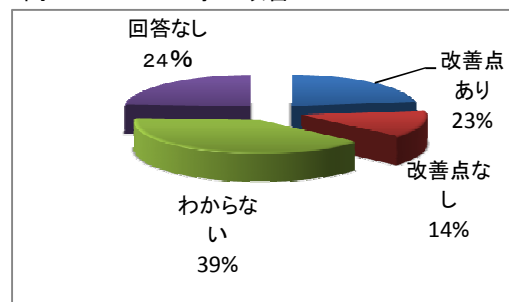
問 8-1 事業の完成結果について



問 9-1 自然環境の変化について



問 10-1 工事の改善について



問 11 その他ご意見・ご要望

- ・ 尾野山地区は山間部のため、特にため池は必要。地滑り対策も必要。
- ・ 下梨平、新池などに小さな池が欲しい。千曲川に水が流れてしまう。
- ・ ため池の泥上げなどを定期的に行って欲しい。水が抜けることで護岸の崩壊に繋がるようではよくない。
- ・ 水が貯まらないことは防火上も良くない。
- ・ この公共事業が行われることすら知らないうちに行われ、すごい税金が使われたことに考えさせられた。
- ・ 当地区の区費がすごく高い。これも農業関係に使用され、非農家が増えているこの地区に本当に必要か？
- ・ 下池は尾野山城の戦略上の池だったと聞く。これをもとに、地方を大きな目で見ていただきたい。
- ・ 水田、畑等、持っていない者にどのような利用価値があるのか説明が欲しい。
- ・ 道路がきれいになり池の周りがよく見えて安心です。
- ・ 尾野山の水田用パイプラインが壊れやすい。何とかならないか。
- ・ 池の土砂で埋まり容量が少なくなっている。浚渫すれば水量が増加するので是非お願いしたい(堆積2~5m)
- ・ 現在60歳以上が水田耕作をしているがTPP問題等で若者は今後、耕作するのか？JA等で集約農業にするか！
- ・ 下の池の全周にわたり工事希望。上池、新池についても同様。
- ・ 小さい子どもがいるので事故が起きないようにしたい。子どもが入り込まないようにしていただきたい。
- ・ 壁がコンクリート製なので、壁面に凹凸をつけると良い。
- ・ 6年も前の工事に関して今さら何を言っている。せめて2年位前のことにしてもらいたい。たるんでいる。
- ・ アンケートをとるタイミング、時期が遅すぎ。
- ・ ホームページ等で集計結果を公表してほしい。工事関係の方々、ご苦労様でした。

問 8-2 主な理由

- ・ 池だけでなく村の安全上(地滑り)の影響を考えると良かった。
- ・ 護岸の整備により安全面も確保されたのではないかと。
- ・ 漏水が無くなり依田川からのポンプアップの回数が少ない。
- ・ こんなに立派になるとは考えもしなかった。雨水も大切な資源。
- ・ 池については満足だが主配管が年2~3回必ずパンクする。
- ・ もっと貯水するには費用がかかる。浚渫をして深さを増加すれば良い。
- ・ 満足かどうかは見た目ではなく、利用価値を実感できるか数値的根拠を伴う裏付けがあつてのこと。だが、それが無い。
- ・ 当初、池の泥を排出する計画であつたと思われる。
- ・ 水深が浅い。容量が少ない。
- ・ 何故、汚泥の撤去まで出来なかったか？再度、排土を希望。

問 9-2 主な理由

- ・ コンクリートになったので雑草もなくなり良くなった。
- ・ 夏季の水の腐敗状況が改良前に比べ大変良くなった。
- ・ 水鳥の飛来が多く見られる。鴨が住むようになった。
- ・ 周囲の石垣の崩れも無くなり景観は良くなったが水がもっときれいになれば・・・。
- ・ 補強はされたが、自然環境の変化はわからない。
- ・ 取水用の水量が少ないため水の流れが少なく綺麗になりにくい。
- ・ 工事前後の水質が悪い(臭い、色)
- ・ 工事前より水が汚くなったと思う。夏は悪臭が気になる。
- ・ 以前は蛍が出ていたが、数がさらに減ったように思う。

問 10-2 主な理由

- ・ 尾野山は地滑り危険区域だが地下水を池に集めて水質の改善と水の確保を図り地滑り防止を合わせて行って欲しい。
- ・ 1日も早く池の泥を全部出してきれいな水でうまい米を作りたい。
- ・ 浚渫工事をなぜやらなかったのか？行政縦割組織の弊害？
- ・ 工事と同時に池の汚泥も一緒に出したかった。
- ・ 池の泥出しまでやらないと環境の改善にはならないのでは？
- ・ 本質改善。排土工事をして水の容量を増やすことが大切。
- ・ 工事前には湯水期の火災等のための可搬式の消防ポンプの置き場があつたが工事後は設定していない。いかなる理由か？
- ・ 保水量増加を考えて工事を行い雨水の有効活用をするべき。

施工前写真



施工後(現況)写真

